

- 問1 レタスの出荷統計において、多くの地域で出荷が少なくなる5月から10月の夏場に、長野県が大量の出荷を実現できている理由として最も適切な説明を選びなさい。（2022年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 暖流の影響を受けた温暖な気候とビニールハウスなどの施設栽培を組み合わせ、成長を早めているため | 2. 冬の間に降った雪を貯蔵施設で活用し、夏の間も農作物を冷やして品質を保ちながら出荷しているため | 3. 標高が高い地域の冷涼な気候を活かして、平地では気温が高すぎて栽培が難しい時期に生産しているため | 4. 広大な平野で機械化を進め、大規模な農地で生産コストを抑えながら短期間に大量収穫しているため |
|---|---|--|--|
- 問2 日本の畜産業において、飼養頭数が最も多い都道府県が北海道であり、次いで鹿児島県、宮崎県の順となっている統計資料があります。この統計が示している家畜として最も適当なものを、次のうちから選びなさい。（2017年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|------|--------|--------|---------|
| 1. 豚 | 2. 乳用牛 | 3. 肉用牛 | 4. にわとり |
|------|--------|--------|---------|
- 問3 日本の輸入相手国の内訳において、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、カタール、クウェート、ロシアの5か国が上位を占めているエネルギー資源の説明として、最も適切なものを選択しなさい。（2020年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|----------------------------|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 鉄鋼業の主な原料として、ブラジルなどから輸入される鉄鉱石である | 2. 火力発電の燃料やガソリンの原料となる原油である | 3. 主にオーストラリアから輸入され、発電に利用される石炭である | 4. -162度で液体にして運ばれる天然ガスである |
|------------------------------------|----------------------------|----------------------------------|---------------------------|
- 問4 宮崎平野や高知平野では、黒潮（日本海流）の影響による温暖な気候を活かし、きゅうりやピーマンなどの作物の成長を早め、他の地域よりも出荷時期を早めて生産する工夫が行われています。このような栽培方法を何といいますか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 有機農業 | 2. 抑制栽培 | 3. 近郊農業 | 4. 促成栽培 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問5 日本では、1970年代から米の生産量を調整するための政策が本格的に導入されました。食生活の変化により米の消費量が減少する一方で、生産技術の向上によって米が余り、価格が下落することを防ぐために行われた、稲作面積の削減や他作物への転換を促す政策の名称を答えてください。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-----------|----------|---------|
| 1. 減反政策 | 2. 食糧管理制度 | 3. 農業基本法 | 4. 地租改正 |
|---------|-----------|----------|---------|
- 問6 日本の人口ピラミッドの推移について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2021年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 2015年ごろは、出生率の上昇により、ピラミッドの裾野が再び広がる形状に変化した。 | 2. 1990年ごろは、若年層が最も厚く、高齢層に向かって急激に細くなる形状であった。 | 3. 戦前の1940年ごろは、出生率が高く若年層が最も多い「富士山型」の形状であった。 | 4. 1960年代は、平均寿命の延伸が止まったため、高齢層が極端に少ない形状を維持していた。 |
|--|---|---|--|
- 問7 近年、上海港などの東アジア諸国の港湾がコンテナ取扱量を急激に伸ばし、日本の主要港の合計を大きく上回るようになった背景として、最も適切な理由はどれですか。（2017年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 経済成長に伴う輸出入の拡大に加え、大型コンテナ船が寄港できる水深や設備を備えた「ハブ港」としての整備が進んだため | 2. 日本の港湾における施設使用料や関税が他国に比べて極端に高くなり、外国船の寄港が禁止されたため | 3. 地球温暖化による海面上昇の影響で、日本の主要5港のすべてが物理的に使用不可能になったため | 4. 日本の製造業が完全に国内生産のみへと切り替わったことで、日本全体の貿易量そのものが消滅したため |
|---|---|---|--|
- 問8 2014年の日本の貿易統計において、中国への輸出額は約13兆3800億円であり、これはオーストラリアへの輸出額である約1兆5000億円の8倍以上（約8.9倍）に相当します。このような日本の貿易相手国に関する実態について述べた文として、正しいものはどれですか。（2016年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 日本にとって最大の貿易相手国は依然としてアメリカであり、中国との貿易総額はアメリカを大きく下回っている。 | 2. オーストラリアは石炭や鉄鉱石の重要な供給元だが、日本からの工業製品の輸出額においては中国を上回っている。 | 3. 中国は日本の最大の貿易相手国であり、輸出額と輸入額の合計である貿易総額において極めて大きな割合を占めている。 | 4. 中国への輸出額は多いものの、輸入額が非常に少ないため、貿易総額ではオーストラリアよりも小規模である。 |
|---|---|---|---|
- 問9 日本の人口構成の推移において、2010年の統計では、65歳以上の「老年人口」が全人口の23.0%を占める一方で、0歳から14歳の「年少人口」は13.2%まで低下しています。このような人口構造の状態を表す言葉として、最も適切なものはどれですか。（2023年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|-------------|----------------|---------|
| 1. 少子高齢社会 | 2. 人口ボーナス社会 | 3. 第一次ベビーブーム社会 | 4. 多死社会 |
|-----------|-------------|----------------|---------|
- 問10 太平洋におけるクロマグロの資源量は、2014年には約20千トンを下回る水準にありましたが、その後は2016年、2018年、2020年と時を経るごとに右肩上がりに増加し、2020年には約60千トン以上に達しています。このように、一度激減した資源量が近年回復傾向に転じている主な要因として、最も適切なものはどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
| 1. 世界的な海水温の上昇により、クロマグロの産卵範囲が北方に拡大したため | 2. 国際的な合意に基づき、漁獲量に制限を設ける資源管理が実施されたため | 3. クロマグロの主な餌となる小魚の漁獲が禁止され、餌資源が豊富になったため | 4. プラスチックごみの削減により、海洋環境が劇的に改善され生存率が上がったため |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
- 問11 2019年の日本における輸出額と輸入額の関係について、世界全体での貿易収支の状況を説明したものとして正しいものはどれですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 輸出額と輸入額が完全に一致し、世界全体での貿易収支が均衡した状態となった。 | 2. すべての地域に対して輸出額が輸入額を上回り、世界全体で大幅な貿易黒字を記録した。 | 3. アジア地域からの輸入が急減したため、輸入総額が輸出総額を大幅に下回る貿易黒字となった。 | 4. 特定の地域との間では輸出額が輸入額を上回る黒字であったが、世界全体では輸入額が輸出額を上回る貿易赤字であった。 |
|--|---|--|--|
- 問12 二千二十四年時点の統計において、群馬県、茨城県、愛知県、三重県などの県で、その地域の総人口に占める数値が四パーセント以上という高い水準を示している指標として、最も適切なものはどれですか。（2026年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------|----------------|------------|------------|
| 1. 在留外国人の割合 | 2. 第一次産業就業者の割合 | 3. 合計特殊出生率 | 4. 老年人口の割合 |
|-------------|----------------|------------|------------|